

## ○土木コンクリート構造物の品質確保について

〔平成15年4月30日  
関係各課（室）の長，関係各出先機関の長 へて 技術管理課長通知〕

土木コンクリート構造物の耐久性を向上させる観点から，コンクリートの品質確保に関し，下記により実施することとしたので通知します。ただし，港湾・漁港事業を除くものとする。

また，貴管内市町村に対しても参考として送付をお願いします。

### 記

- 1 土木コンクリート構造物の耐久性を向上させるため，一般の環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は，鉄筋コンクリートについては55%以下とすること。
- 2 鉄筋のかぶりを確保するため，スペーサーを設置するものとする。スペーサーは，構造物の側面については原則1m<sup>2</sup>につき2個以上，構造物の底面については，原則1m<sup>2</sup>につき4個以上設置すること。
- 3-1 重要なコンクリート構造物の適切な施工を確認するため，コンクリート構造物の施工完了後に，テストハンマーによる材齢28日強度の推定調査を請負者に実施させるものとし，調査結果を提出させること。
- 3-2 テストハンマーによる強度推定調査の結果が，所定の強度が得られない場合については，請負者に原位置のコアを採取し，圧縮強度試験を実施させるものとし，試験結果を提出させること。
- 3-3 上記3-2による圧縮強度試験結果が所定の強度が得られない場合等の対応方法については，各主務課及び技術管理課企画指導係に相談すること。
- 4 工事完成後の維持管理にあたっての基礎資料とするため，重要構造物についてはひび割れ発生状況の調査を請負者に実施させるものとし，調査結果を完成検査時に提出させること。
- 5 工事関係技術者と技能者の責任と自覚・社会的貢献意識を高揚し，また，将来の持維管理補修の効率化を図るため，当該工事関係者，構造物の諸元等を表示する銘板の設置を推進すること。
- 6 適用  
この要領は，平成15年4月1日以降に発注する工事に適用する。